4-191-106-**03** (1)

データ
プロジェクター

取扱説明書

VPL-FH500L
VPL-FX500L

機種の中には、国・地域によって販売されていないものがあります。 ソニーの相談窓口に確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

はじめに

準備

映像の投写と画面の調整

メニューで行う調整と設定

ネットワーク機能

その他

各部の名前と働き

本体

❶ **レンズ（別売）（45 ページ）**

❷ **フロントパネル（45 ページ）**

❸ **ランプカバー**

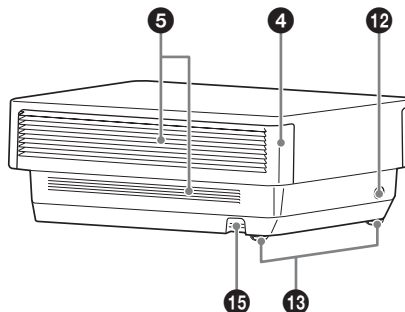
❹ **エアーフィルターカバー**

❺ **吸気口**

❻ **排気口**

> **⚠警告**
> 排気口、吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。

❼ **ON/STANDBY インジケーター（36 ページ）**

❽ **LAMP/COVER インジケーター（37 ページ）**

❾ **本体ボタン部（5 ページ）**

❿ **接続端子部（4 ページ）**

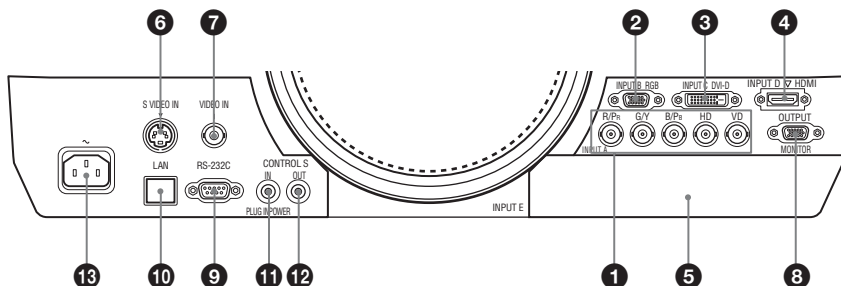
⓫ **オプションアダプター用スロット（50 ページ）**
別売のオプションアダプターを取り付けることができます（VPL-FH500L のみ）。

⓬ **リモコン受光部**
前面と後面にあります。

⓭ **アジャスター（15 ページ）**

⓮ **盗難防止ロック**
Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。
http://www.kensington.com/

⓯ **盗難防止用バー**
市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。

接続端子

入力（9 ページ）

❶ 入力 A（INPUT A）

映像：RGB ／ Y PB PR 入力端子（RGB HD VD ／ Y PB PR）

❷ 入力 B（INPUT B）

映像：RGB 入力端子（RGB）

❸ 入力 C（INPUT C）

映像：DVI-D 入力端子（DVI-D）

❹ 入力 D（INPUT D）（VPL-FH500L のみ）

映像：HDMI 入力端子（HDMI）

❺ 入力 E（INPUT E）（VPL-FH500L のみ）

映像：オプションアダプター用スロット *

❻ S ビデオ（S VIDEO IN）

映像：S ビデオ入力端子

❼ ビデオ（VIDEO IN）

映像：ビデオ入力端子

ご注意

* 取り付け可能なオプションアダプターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

出力（12 ページ）

❽ 出力（OUTPUT）

映像：モニター出力端子（MONITOR）

ご注意

投写している映像が出力されます。RGB 入力端子（入力 A、入力 B）からコンピューター信号を入力しているとき、または Y PB PR 入力端子（入力 A）からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

その他

❾ RS-232C 端子

RS-232C 準拠の制御用端子です。

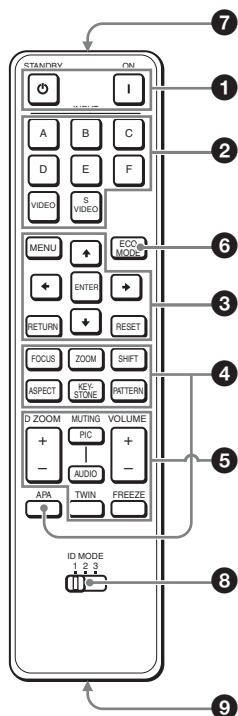
❿ LAN 端子（32 ページ）

⓫ コントロール S 入力端子（電源供給）(CONTROL S IN PLUG IN POWER)

リモコンのコントロール S 出力端子とリモコンケーブル（ステレオミニプラグ（別売））で接続すると、ワイヤードリモコンとして使用できます。

本体側から電源が供給されるため、リモコンに電池を入れる必要がありません。

⓬ コントロールS出力端子（CONTROL S OUT）

ワイヤードリモコンとして使用する時に、複数台の連結制御に使用します。

⓭ 電源コンセント（～）

付属の電源コードを接続します。

リモコンと本体ボタン

リモコン

本体ボタン

❶ 電源を入／スタンバイする

I（オン）ボタン

⏻（スタンバイ）ボタン

❷ 入力を切り換える（13ページ）

INPUT（入力選択）ボタン（本体）

ダイレクト入力選択ボタン（リモコン）

VPL-FH500L：Fボタンは使用しません。

VPL-FX500L：D、E、Fボタンは使用しません。

❸ メニュー操作などを行う（16ページ）

ENTER（決定）／↑/↓/←/→（矢印）ボタン

MENU（メニュー）ボタン

RETURN（戻る）ボタン

RESET（リセット）ボタン

❹ 映像を調整する（14ページ）

FOCUS（フォーカス）ボタン

電動フォーカスレンズ装着時に使用します。

ZOOM（ズーム）ボタン

電動ズームレンズ装着時に使用します。

SHIFT（シフト）ボタン

ASPECT（アスペクト）ボタン（20、22 ページ）

投写している画面の縦横比が切り換わります。

KEYSTONE（キーストーン補正）ボタン

本機の垂直台形歪み補正を手動で調整するときに使います。押すと、キーストーン（垂直台形歪み補正）調整メニューが表示されます。↑/↓/←/→ キーを使って調整します。

PATTERN（パターン）ボタン（15 ページ）

APA（オートピクセルアライメント）ボタン＊

コンピューターの映像を投写している場合、画面を自動的に調整します。調整中にもう一度 APA ボタンを押すと、調整が取り消されます。

ご注意

＊ RGB 入力端子（入力 A、入力 B）からコンピューター信号を入力しているときに使用できます。

❺ 投写中の便利な機能を利用する

D ZOOM（デジタルズーム）+/ − ボタン＊1

投写中の映像の一部を拡大します。

1 D ZOOM + ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。

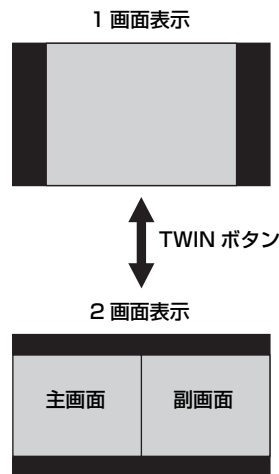
2 ↑/↓/←/→ ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。

3 D ZOOM + ボタンまたは D ZOOM − ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。

拡大率は 1 倍から 4 倍まで変更できます。

RESET ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

TWIN（2 画面）ボタン（VPL-FH500L のみ）

2 つの入力信号を主画面、副画面の 2 画面で同時に投写します。 1 画面表示と 2 画面表示の切り換えは、リモコンの TWIN ボタンで操作します。

主画面は、入力信号を切り換えることができます。副画面は入力 B（INPUT B）からの固定表示となります。

入力信号の組み合わせは、「2 画面入力組み合わせ一覧表」（58 ページ）をご覧ください。

ご注意

- 2 画面表示中は、I（オン）ボタン、⏻（スタンバイ）ボタン、INPUT ボタン、MUTING（PIC）ボタンが使用できます。
- 「スクリーンアスペクト」（29 ページ）を「4：3」に設定している場

合、2画面表示は使用できません。
・2画面表示中は、入力切換パレット（13ページ）に信号の有無⊖は表示されません。
・1画面時に設定した画質調整が反映されないことがあります。

MUTING（ミューティング）ボタン

PIC：一時的に映像を消します。もう一度押すと解除します。

AUDIO：本機では使用しません。

VOLUME（音量）+/ −ボタン

本機では使用しません。

FREEZE（フリーズ）ボタン *2

一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。

ご注意

*1 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。ただし、2画面表示をしている場合や（VPL-FH500Lのみ）、入力信号の解像度によっては使用できない場合があります。

*2 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。

❻ 簡単に省エネ設定をする

ECO MODE（エコ モード）ボタン

「ランプモード」、「パワーセービング」、「スタンバイモード」の省エネ設定が簡単にできます。

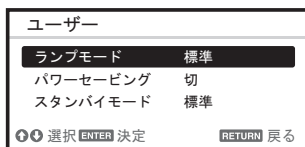
1 ECO MODEボタンを押し、ECOモードメニューを表示する。

2 ↑/↓ボタンまたはECO MODEボタンを押し、「ECO」または「ユーザー」モードを選ぶ。

ECO：それぞれの設定を最も省エネになる値（ランプモード：「標準」／パワーセービング：「スタンバイ」／スタンバイモード：「低」）に設定します。（手順**6**へ）

ユーザー：省エネ設定を手動で行えます。（手順**3**へ）

3「ユーザー」を選び、→ボタンを押す。

設定項目が表示されます。

4 ↑/↓ボタンで項目を選択し、→ボタンまたはENTERボタンを押して設定項目を選ぶ。

5 ↑/↓ボタンで設定値を選ぶ。

6 RETURNボタンを押す。

元の画面に戻ります。

各設定項目の内容について詳しくは、機能設定メニューの「ランプモード」（24ページ）、接続 / 電源設定メニューの「スタンバイモード」（27ページ）、「パワーセービング」（27ページ）をご覧ください。

その他

❼ リモコン発光部

❽ ID MODE 1/2/3（ID モード 1、2、3）スイッチ（25 ページ）

リモコンの ID モードを設定します。本機を複数台使用する場合に、それぞれのプロジェクターに異なる ID モードを設定しておけば、リモコンと同じ ID モードのプロジェクターのみ制御が可能になります。

❾ コントロール S 出力端子

本体の CONTROL S 入力端子とリモコンケーブル（ステレオミニプラグ（別売））で接続すると、ワイヤードリモコンとして使用できます。
プロジェクターからリモコン用の電源が供給されるため、電池を入れる必要はありません。

リモコンの操作について

・リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。
・リモコンが本体に近いほど操作が可能な角度が広がります。
・リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

接続のしかた

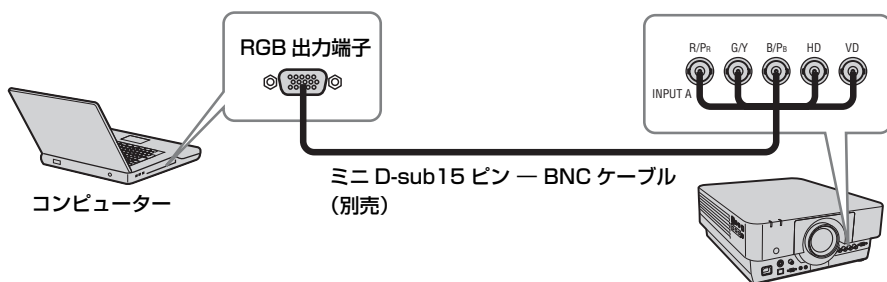
ご注意

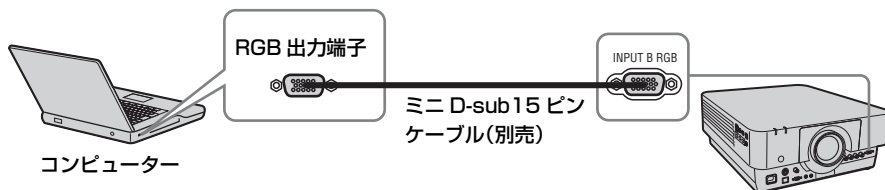
・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューターとの接続

コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

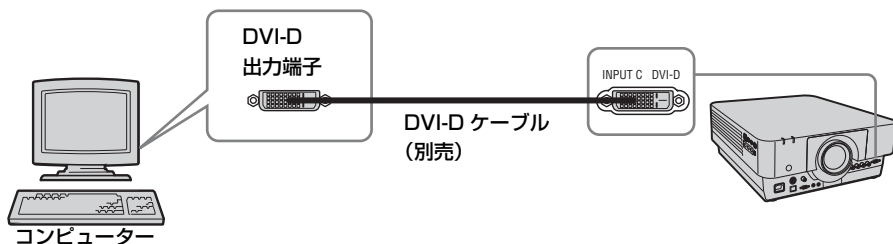
入力 A（INPUT A）

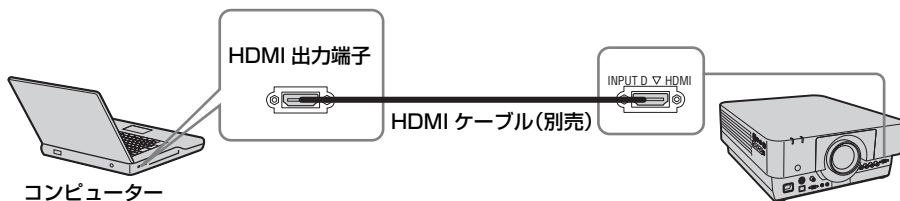
長距離でコンピューターと接続する場合に使用します。

入力 B（INPUT B）

RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。

ご注意

コンピューターの画面設定で、外部モニターの解像度を VPL-FH500L は 1920 × 1200 ピクセル、VPL-FX500L は 1024 × 768 ピクセルに設定することをおすすめします。

入力 C（INPUT C）

DVI-D 出力端子付きのコンピューターと接続します。

入力 D（INPUT D）（VPL-FH500L のみ）

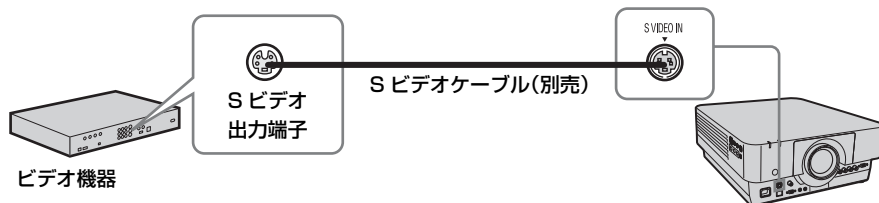
HDMI 出力端子付きのコンピューターと接続します。

ご注意

- DSD（Direct Stream Digital）信号と CEC（Consumer Electronics Control）信号には対応していません。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴの付いたケーブルをご使用ください。

ビデオ機器との接続

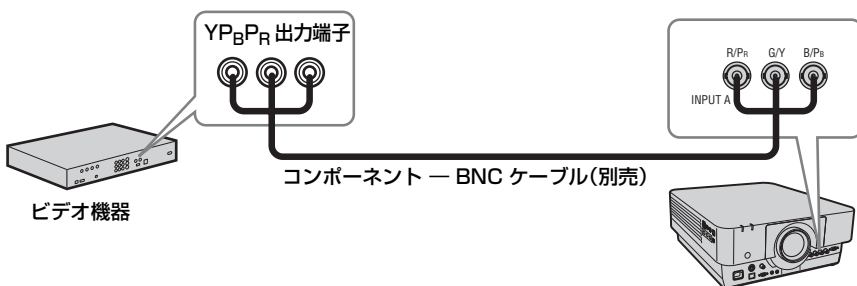
VHS ビデオ、DVD プレーヤー、BD プレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

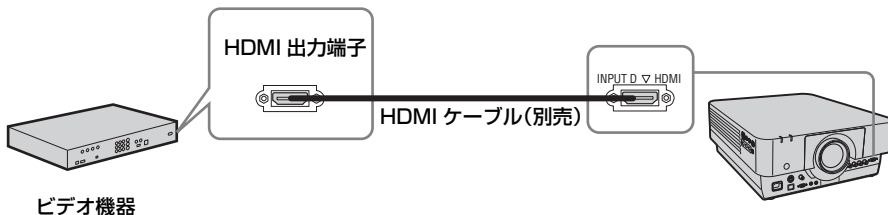
S ビデオ（S VIDEO IN）

S ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。

ビデオ（VIDEO IN）

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。

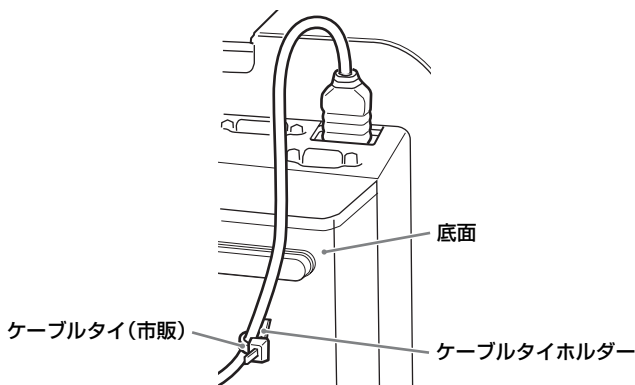
入力 A（INPUT A）

長距離でビデオ機器と接続する場合に使用します。

入力 D（INPUT D）（VPL-FH500L のみ）

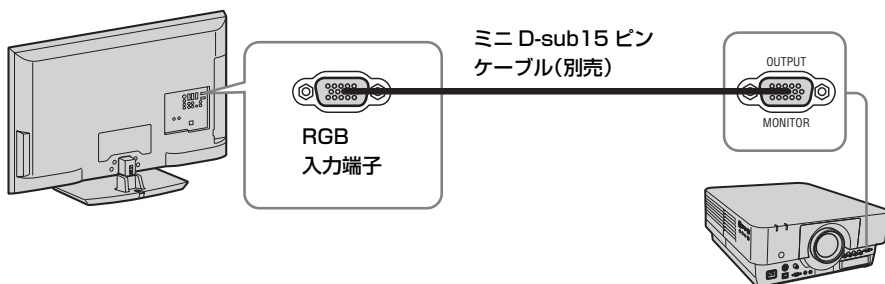
HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。

ご注意

- DSD（Direct Stream Digital）信号と CEC（Consumer Electronics Control）信号には対応していません。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴの付いたケーブルをご使用ください。

HDMI ケーブルを固定したい場合は

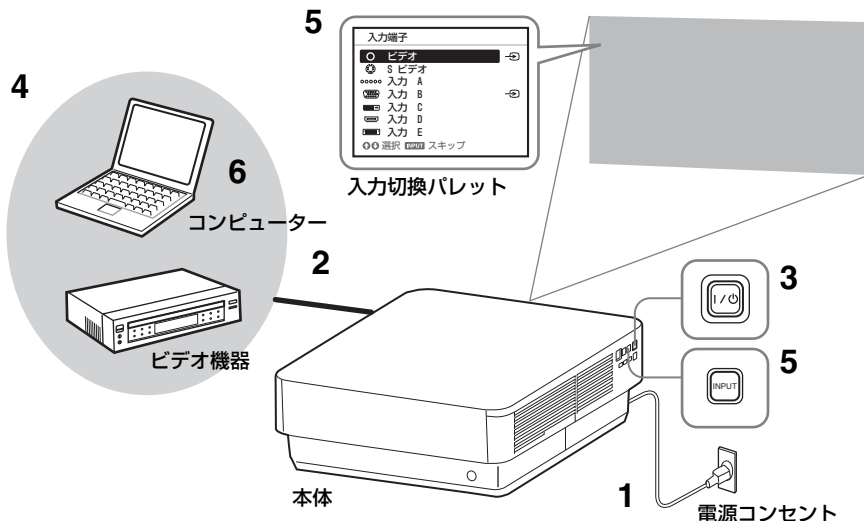
HDMI 端子の底面にあるケーブルタイホルダーに市販のケーブルタイなどを利用し、図のように固定してください。
ケーブルタイは、太さが 1.9 ミリ× 3.8 ミリ以下のものを用意してください。

外部モニターとの接続

出力（OUTPUT）

投写中の映像を、モニターなどのディスプレイ機器に出力することができます。

ご注意

投写している映像が出力されます。RGB 入力端子（入力 A、入力 B）からコンピューター信号を入力しているとき、または Y PB PR 入力端子（入力 A）からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（59 ページ）をご覧ください。

1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 再生する機器と接続する（9 ページ）。

3 本機の電源を入れる。

本体の I/⏻ ボタンまたはリモコンの I ボタンを押します。

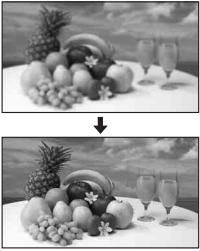
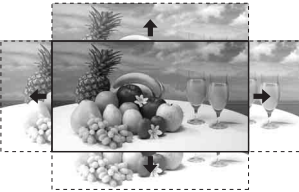
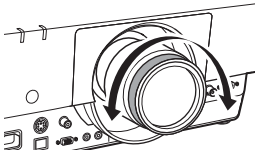
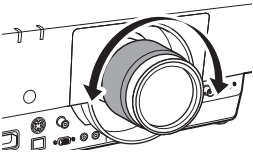
4 再生する機器の電源を入れる。

5 投写する映像を選ぶ。

本機の INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切換パレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押すか、または ⬆/⬇ ボタンを押し、投写する映像を選びます。

信号入力時は右側に ⇥ が表示されます。

また、リモコンのダイレクト入力切換ボタンでも切り換えることができます（5 ページ）。

6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

出力先の切り換えは、コンピューターによって異なります。

（例）

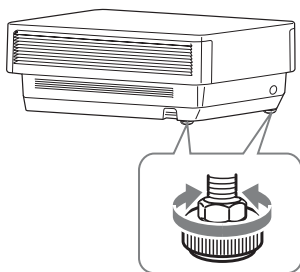
Fn + F7

7 画面のフォーカス、サイズ、位置を調整する（14 ページ）。

画面のフォーカス／サイズ／位置を調整する

画面のフォーカス （フォーカス）	画面のサイズ （ズーム）	画面の位置 （レンズシフト）
電動フォーカスレンズ装着時 リモコンまたは本体ボタンのFOCUSボタンを押し、⬅（または、⬇）➡（または⬆）ボタンで調整する。 **手動フォーカスレンズ装着時** フォーカスリングを回して調整する。	**電動ズームレンズ装着時** リモコンまたは本体ボタンのZOOMボタンを押し、⬅（または、⬇）➡（または⬆）ボタンで調整する。 **手動ズームレンズ装着時** ズームリングを回して調整する。	リモコンまたは本体ボタンのSHIFTボタンを押し、⬆/⬇/⬅/➡ボタンで調整する。 **センター位置に戻すには** 調整中にリモコンのRESETボタンを押してください。

アジャスターによる調整

台が水平でない場合には、アジャスターで調整できます。台形になった投写画面を補正したい場合はキーストーン補正機能をご利用ください（6、29ページ）。
また、アジャスターからナットを取りはずすことにより、調整範囲を広げることができます。

ご注意

・アジャスターを調整するときは、手をはさまないようにしてください。
・アジャスターを出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。
・キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

調整用パターンを表示する

リモコンのPATTERNボタンを押すと、投写画面上に調整用パターンを表示することができます。もう一度PATTERNボタンを押すと、元の画面に戻ります。

電源を切る

1 本体のI/⏻ボタンまたはリモコンの⏻ボタンを押す。

本体のI/⏻ボタンを押した場合は、確認のメッセージが表示されます。メッセージに従って、もう一度本体のI/⏻ボタンを押してください。
しばらくの間本体を冷やすためにファンが回り続けます。

2 電源コードを抜く。

本機は、ファンの停止を待たずに電源コードを抜いても問題ありません。

ご注意

電源を切った直後に本機を移動させる場合は、必ずファンの停止を待ってから電源コードを抜いてください。ファンの停止を待たずに電源コードを抜いて移動させると、故障の原因となります。

確認のメッセージを消すには

本体のI/⏻ボタンまたはリモコンの⏻ボタン以外のボタンを押すか、しばらくの間何もボタンを押さないでいると消えます。

本体のボタンで確認のメッセージを出さずに電源を切るには

本体のI/⏻ボタンを数秒間押し続けてください。

メニューの操作のしかた

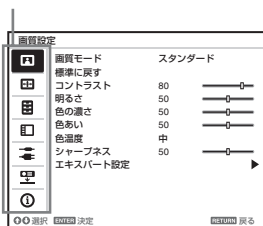
ご注意

説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なることがあります。あらかじめご了承ください。

1　MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。

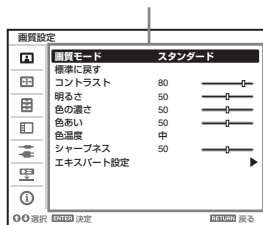
2　設定したい設定メニューを選ぶ。

🡅 または 🡇 ボタンを押して設定メニューを選び、🡆 ボタンまたはENTER ボタンを押す。

設定メニュー

3　設定したい項目を選ぶ。

🡅 または 🡇 ボタンを押して項目を選び、🡆 ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

🡄ボタンまたはRETURNボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

設定項目

4　設定項目の設定や調整をする。

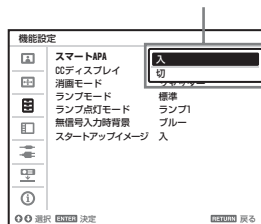
設定項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、**3** の操作方法に従って設定したい項目を選び、ENTER ボタンを押して設定を確認してください。

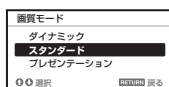
🡄ボタンまたはRETURNボタンを押すと、設定項目の選択に戻ります。

また、設定項目を設定、または調整中に RESET ボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

ポップアップメニューの操作：

🡅/🡇/🡄/🡆 ボタンで項目を選びます。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

選択項目

設定メニューの操作：

🡅/🡇 ボタンで項目を選びます。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

調整メニューの操作：

数値を大きくするときは ↑ または → ボタンを押し、数値を小さくするときは ↓ または ← ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

設定項目	項目説明
画質モード	**ダイナミック：**明暗のはっきりしたメリハリのある鮮やかな画質になります。 **スタンダード：**なめらかな階調の自然な画質になります。 **プレゼンテーション** [*1]**：**プレゼンテーションに適した明るい画質になります。
標準に戻す	画質設定をお買い上げ時の値に戻します。 ただし、「画質モード」と「色温度のカスタム 1、2、3」の値はお買い上げ時の設定に戻りません。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ [*2、*4]	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい [*2、*4、*5]	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかかります。
色温度 [*3]	**高／中／低：**高い温度ほど映像が青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。 **カスタム 1 ／カスタム 2 ／カスタム 3：**好みに合わせて調整した設定を保存できます。 お買い上げ時の値は、「カスタム 1」は「高」、「カスタム 2」は「中」、「カスタム 3」は「低」と同じ設定になっています。
シャープネス [*6]	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
エキスパート設定	
フィルムモード [*2、*7]	**オート：**映画フィルムの映像を原画に忠実な映像に再現します。通常は「オート」のままお使いください。 **切：**「オート」に設定していて、映像の輪郭がギザギザに見えるときに選んでください。
黒補正 [*2]	**強／弱／切：**お好みに合わせて、映像の黒い部分を強調します。

設定項目	項目説明
ガンマモード *1	**グラフィックス：**中間調の再現性が高くなるガンマ補正曲線を選びます。写真を自然な階調で再現します。 **テキスト：**白と黒の対比をはっきりさせるガンマ補正曲線を選びます。文字の多い映像に適しています。 **DICOM GSDF Sim.*8：**医用におけるデジタル画像と通信（DICOM）規格のグレースケール標準関数（GSDF）に基づいたガンマ設定です。

ご注意

*1：コンピューター信号入力時に選択できます。
*2：ビデオ信号入力時に選択できます。
*3：画質モードを「プレゼンテーション」以外に設定している場合に選択できます。
*4：白黒信号入力時には選択できません。
*5：アナログ TV 信号の場合は、カラー方式によっては選択できない場合があります。
*6：ビデオ信号入力時に選択できます（VPL-FX500L）。
*7：プログレッシブ信号入力時には選択できません。
*8：DVI-D 入力端子（入力 C）、または HDMI 入力端子（入力 D）からのコンピューター信号に対応します。医療機器ではありませんので、医療診断には使用できません (VPL-FH500L)。

画面モード

入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

設定項目		項目説明
アスペクト*1		投写している画面の縦横比が切り替わります（22 ページ）。
	コンピューター信号入力時	**フル 1：**入力信号の縦横比を維持して画面いっぱいに投写します。
		フル 2：画面いっぱいに投写します。
		ノーマル：拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
	ビデオ信号入力時	**4：3：**縦横比を 4：3 に固定し、画面いっぱいに投写します。 **16：9：**縦横比を 16：9 に固定し、画面いっぱいに投写します。 **フル*2：**画面いっぱいに投写します。 **ズーム：**画面の中心部分を拡大して投写します。
画面位置 上下*2 *3		画面全体を上下に移動させて調整します。 数値が大きくなると画面が上に動き、小さくなると下に動きます。
縦サイズ*2 *3		映像を縦方向に拡大または縮小します。 数値を大きくすると拡大され、小さくすると縮小されます。字幕付き映画などに表示されている字幕が見えない場合などに「画面位置上下」と組み合わせて使用します。
オーバースキャン*3		**入／切：**「入」を選ぶと映像の周囲をかくして投写します。映像の端にノイズなどが見えるような場合に使用します。
入力信号調整*6		信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れていたり、映りが悪い場合に調整します。
	APA*4 *5	ENTER ボタンを押すと画面が最適になるように自動で調整します。
	フェーズ*4	入力信号と表示画素の位相（フェーズ）を調整します。一番くっきり見える数値に設定してください。
	ピッチ*4	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅（ピッチ）が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
	シフト*6	**H（水平）：**数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 **V（垂直）：**数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。

ご注意

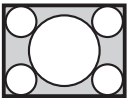
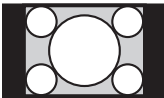
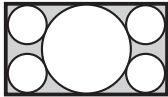
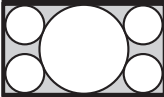
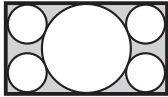
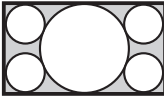
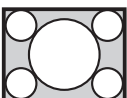
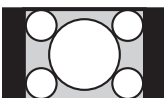
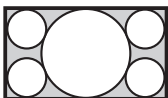
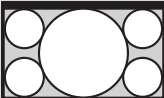
*1 ・営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますの

でご注意ください。

・入力信号によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。

・選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。

*2：VPL-FH500L のみ対応。

*3：Y PB PR 入力端子（入力 A）または、DVI-D 入力端子、HDMI 入力端子、オプションアダプターから入力されるビデオ信号入力時に選択できます。

*4：RGB 入力端子（入力 A、入力 B）から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。

*5：投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」を調整してください。

*6：RGB 入力端子（入力 A、入力 B）から入力されるコンピューター信号入力時、または Y PB PR 入力端子（入力 A）から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。アスペクトをズームに設定した場合のみ使用できます。

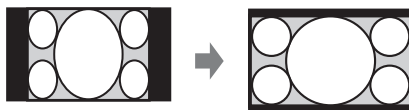
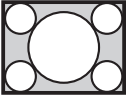
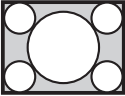
アスペクトについて

VPL-FH500L

	入力信号	おすすめの設定値とそのときに投写される映像
コンピューター信号	「4：3」	「フル 1」*1 *2
	「16：9」	「フル 1」*1 *2
	「16：10」	「フル 1」*1
ビデオ信号	「4：3」	「4：3」*3 *5
	「16：9」	「16：9」*4 *5

*1 :「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。

*2 :「フル２」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投射します。

*3 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16：9」を選んでください。

*4 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。

*5 :「フル」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投射します。

VPL-FX500L

	入力信号	おすすめの設定値とそのときに投写される映像
コンピューター信号	「4：3」	「フル 1」*1
	「16：9」	「フル 1」*1 *2
	「16：10」	「フル 1」*1 *2
ビデオ信号	「4：3」	「4：3」*3
	「16：9」	「16：9」*4

*1 :「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。

*2 :「フル 2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。

*3 : 入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16：9」を選んでください。

*4 : 入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。

機能設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。

設定項目	項目説明
スマート APA	**入／切：**「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。*1
CC ディスプレイ	**CC1 ／ CC2 ／ CC3 ／ CC4 ／ Text1 ／ Text2 ／ Text3 ／ Text4：**表示する CC（クローズドキャプション）のサービス（字幕または文字情報）を選択します。 **切：**CC を表示しません。
消画モード	**シャッター：**PIC MUTING ボタンを押したときにシャッターを閉じます。 **イメージ：**PIC MUTING ボタンを押したときに映像を消します。
ランプモード	**高／標準：**「高」を選ぶと映像は明るくなり、消費電力が高くなります。
ランプ点灯モード	本機には 2 本のランプによる切り換え機能が搭載されており、突然ランプが切れても、自動的にもう一方のランプが点灯して運転の中断を回避します。 **オート：**起動時に点灯可能なランプのうち、使用時間の短い方を選んで点灯させます。 **ランプ 1 ／ランプ 2：**選択したランプを点灯させます。選択しているランプが不点灯状態になった場合は、自動で点灯可能なランプに切り換わります。ランプの交換がすぐに行えない場合におすすめします。
無信号入力時背景	**ブラック／ブルー：**信号が入力されていないときの背景の色を設定できます。
スタートアップイメージ	**入／切：**「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表示されます。

ご注意

*1：RGB 入力端子（入力 A、入力 B）からコンピューター信号が入力された時に APA が実行されます。

操作設定

メニューやリモコンによる操作のための機能を設定します。

設定項目	項目説明
表示言語	メニューやメッセージなどに使用する言語を設定します。
メニュー位置[*1]	**左下／中央：**メニューを表示する位置を選択します。
画面表示	**入：**すべての画面表示が有効になります。 **切：**メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。
リモコン受光部	**前＆後／前／後：**利用可能なリモコン受光部の位置を設定します。
ID モード	**オール／１／２／３：**本機の ID モードを設定します。「オール」を選ぶと、ID モードに関係なくリモコン操作が可能となります。リモコンの ID モードスイッチも合わせてご覧ください（8 ページ）。
セキュリティロック[*2]	**入／切：**パスワードを設定し、利用者を制限することができます。セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。 **1** 「入」を選び、ENTER ボタンを押して設定画面を表示する。 **2** MENU、↑/↓/←/→、ENTER の 6 つのボタンを使用してパスワードを入力する。（出荷時は"ENTER, ENTER, ENTER, ENTER"が設定されています。） **3** MENU、↑/↓/←/→、ENTER の 6 つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。 **4** 確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。 パスワードは、電源コードの抜き差しをしたあと、電源を入れたときに入力します。 「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。 パスワードの入力に 3 回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、I/⏻ ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。
パネルキーロック	**入／切：**「入」を選ぶと、本体ボタンでの操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作ができます。 ・スタンバイ状態で、I/⏻ ボタンを約 10 秒押す。 ➔電源が入ります。 ・電源が入った状態で、MENU ボタンを約 10 秒押す。 ➔パネルキーロックが「切」になり、本体のコントロールパネルのボタン操作が可能になります。
レンズコントロール	**入／切：**「入」を選ぶと、レンズの調整（「フォーカス」、「ズーム」、「シフト」）をリモコンまたは本体ボタンから操作ができます。調整終了後、誤操作などを防止したい場合は、「切」を選んでください。

ご注意

*1：VPL-FH500L のみ対応。

*2：パスワードが分からなくなった場合、本機を使用することができなくなりますので充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とお客様の確認が必要になります。（確認方法は、販売国／地域によって異なります。）

接続／電源設定

接続、電源に関わる機能を設定します。

設定項目	項目説明
ネットワーク設定	
IP アドレス設定	**自動 (DHCP)：**ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 **手動：**手動でネットワークを設定します。
IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ ／プライマリ DNS ／セカンダリ DNS	IP アドレス設定で「手動」を選んだときに、← または → で入力する値を選び、↑ または ↓ で値を入力します。すべての入力が終了したら「適用」を選び、ENTER ボタンを押すと設定が有効になります。
入力 A 信号種別	**オート／コンピューター／ビデオ GBR ／コンポーネント：**「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。*1
カラー方式	**オート／ NTSC3.58 ／ PAL ／ SECAM ／ NTSC4.43 ／ PAL-M ／ PAL-N：**「オート」を選ぶと、S ビデオ、ビデオを選んでいるときの映像信号のカラー方式を自動的に選びます。*1
スタンバイモード *2	**標準／低：**「低」を選ぶと、スタンバイ時の消費電力が少なくなります。
パワーセービング	**ランプオフ：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、ON/STANDBY インジケーターはオレンジ色に点灯します（36 ページ）。 **スタンバイ：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 **切：**パワーセービング機能を切ります。
ダイレクトパワーオン	**入／切：**「入」を選ぶと、電源コードをコンセントに接続したときに、スタンバイ状態を経ずに電源が入になるようになります。また、電源を切るときも、スタンバイを経ずに電源コードを抜くことができます。 本機は、スタンバイ状態を経ずに、電源コードを抜いても問題ありません。

ご注意

*1：入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続

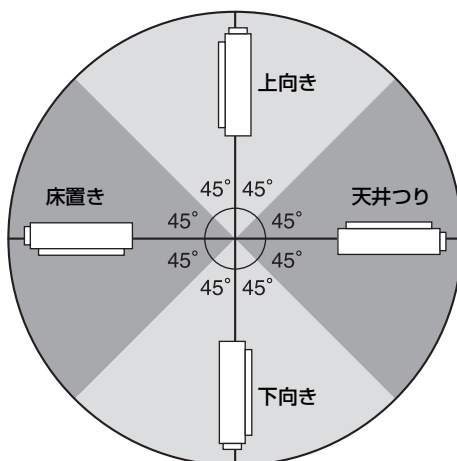
メニューで行う調整と設定

している機器に応じて手動で設定してください。

*2：スタンバイモードが「低」の場合、スタンバイ時にネットワークおよびネットワークコントロール機能は使用できなくなります。

設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

設定項目	項目説明
画像反転	**上下左右／左右／上下／切：**設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
設置角度	**床置き／天井つり／上向き／下向き：**設置角度に応じて冷却設定を変更します。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
高地モード[*1]	**入／切：**高地（海抜 1500 m 以上）で使用する場合に「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
スクリーンアスペクト[*2]	**16：10／16：9／4：3：**使用するスクリーンに応じて、投写する表示範囲を切り換えます。
Vキーストーン[*3 *4]	数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

設定項目	項目説明
パネルアライメント[*2 *5]	文字や映像の色ずれを微調整します。 「入」にすると、「調整色」の指定や「調整パターン色」の指定を行い調整することができます。 **調整アイテム：**調整方法を以下より選択します。 　**シフト：**画面全体をシフトして調整します。 　**ゾーン：**調整したい範囲を指定して調整します。 **調整色：**色ずれの気になる色を指定します。「G」(緑) を基準に調整するため、「R」(赤) または「B」(青) を選択します。 **調整パターン色：**「調整色」が「R」(赤) の場合は、「R/G」(赤と緑) または「R/G/B」(白、全色) を選択します。「調整色」が「B」(青) の場合は、「B/G」(青と緑) または、「R/G/B」(白、全色) を選択します。 **調整：**「調整色」で選択した色のシフト調整およびゾーン調整を、↑/↓/←/→ ボタンで行います。
カラーマッチング[*2 *6]	**調整／リセット：**投写映像全体の明るさとカラーを、6 段階の信号レベルから手動で補正できます。

ご注意

*1：本機は海抜 2700m 以上では使用しないでください。
*2：VPL-FH500L のみ対応。
*3：レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。
*4：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
*5：調整値によっては、色付きや解像度に変化が生じる場合があります。
*6：「明るさ」や「カラー」の調整を行っても完全に一致しない場合があります。

ⓘ 情報

ランプの使用時間など、本機の情報を確認できます。

項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
fH（水平周波数）／fV（垂直周波数）*1	現在入力されている信号の水平周波数／垂直周波数を表示します。
信号の種類	現在入力されている信号の種類を表示します。
ランプ使用時間	ランプの使用状況、使用時間を表示します。 （1：ランプ1／2：ランプ2） 1 2：点灯しています。 1 2：点灯していません。 1 2：異常です。

ご注意

*1：入力信号によって表示されない場合があります。

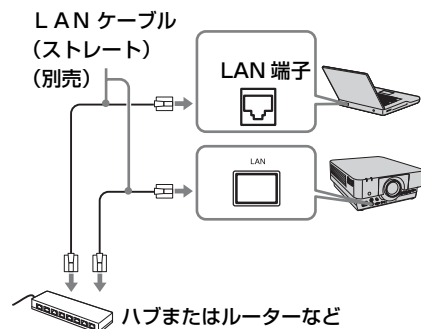
メニューで行う調整と設定

ネットワーク機能を利用する

プロジェクターをネットワークに接続することで、以下のことができます。
- ウェブブラウザを利用してプロジェクターの現在の状況を確認する。
- ウェブブラウザを利用してプロジェクターを遠隔操作する。
- プロジェクターからメールレポートを受け取る。
- プロジェクターのネットワーク設定を行う。
- 各種ネットワーク監視、制御プロトコル（Advertisement、PJ Talk、PJ Link、SNMP、AMX DDDP （Dynamic Device Discovery Protocol））に対応。

ご注意
- 説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- 使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 6/7/8 です。
- 表示可能言語は英語のみです。
- コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

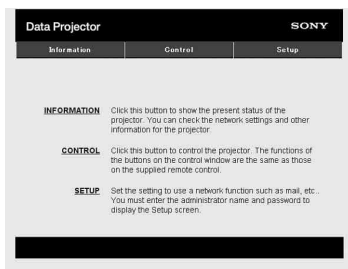
ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く

1 LAN ケーブルをつなぐ。

2 プロジェクターのネットワーク設定を行う。

「接続／電源設定」の「ネットワーク設定」でプロジェクターのネットワーク設定を行ってください（27ページ）。

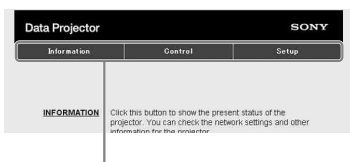
3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し <ENTER> キーを押す。

http://xxx.xxx.xxx.xxx
（xxx.xxx.xxx.xxx：プロジェクターの IP アドレス）
プロジェクターの IP アドレスは、「接続／電源設定」の「ネットワーク設定」で確認できます。

ブラウザに次のようなコントロール画面が表示されます。

一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順 **3** の操作だけでコントロール画面を表示できます。

コントロール画面の操作方法

ページを切り換える

ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。

ページ切換えボタン

アクセス制限を設定する

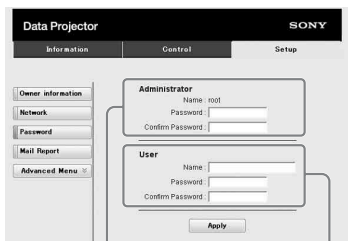
各ページの利用者を次のように制限できます。

管理者：すべてのページにアクセス可能。

ユーザー：Setup ページ以外にアクセス可能。

Setup ページ内の Password ページから設定します。

初めて、Setup ページにアクセスするときは、ユーザー名「root」、パスワード「なし」でアクセスしてください。

なお、管理者の名前は「root」に固定されています。

「管理者」権限の入力エリア

「ユーザー」権限の入力エリア

パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

ご注意

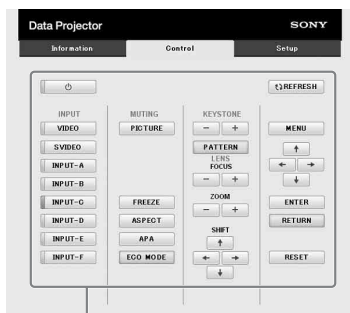
パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

プロジェクターの状態を確認する

Information ページを開くと、プロジェクターの現在の状態を確認できます。

情報エリア

プロジェクターを操作する

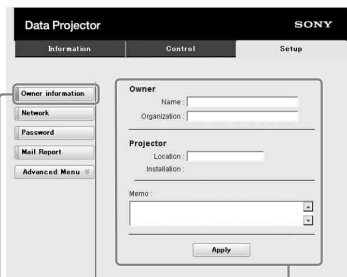
Control ページからプロジェクターを操作します。

操作エリア

各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じになります。

メールレポート機能を利用する

Setup ページからメールレポート機能を設定します。
Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

1 メールレポートに記載される所有者情報を入力する。

Owner information ボタンを押し、メールレポートに記載される所有者情報を入力します。

Owner information ボタン　1

2 メールレポートのタイミングを設定する。

Mail Report ボタンを押し、Mail Report ページを開く。

Lamp Reminder (Lamp 1)：ランプ交換のためのレポートタイミングを設定します。本体側でランプを交換するとリセットされます（41 ページ）。

Maintenance Reminder：任意のメンテナンスのレポートタイミングを設定します。RESET チェックボックスをチェックし、Apply ボタンを押すとリセットされます。

Mail Report ボタン

3 送信先メールアドレスを入力する。

Email Address に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックをします。

4 メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。

Mail Address：メールアドレスを入力します。

Outgoing Mail Server (SMTP)：送信メールサーバー（SMTP）のアドレスを入力します。

Required Authentication：メール送信に認証が必要な場合にチェックします。

Requires the use of POP Authentication before send e-mail（POP before SMTP）：メール送信時に POP 認証を行う場合にチェックします。

Incoming Mail Server (POP3)：POP3 認証で使用される受信メールサーバー（POP3）のアドレスを入力します。

Account Name：アカウント名を入力します。

Password：パスワードを入力します。

SMTP Authentication：メール送信時に SMTP 認証を行う場合にチェックします。

Account Name：アカウント名を入力します。

Password：パスワードを入力します。

5 メールレポートの内容を確認する。

View ボタンを押すと、送信されるメールレポートの内容が表示されます。

6 テストメールを送信する。

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

ご注意

・Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。

・文字列が入力できるボックスに「'」「"」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

インジケーターの見かた

インジケーターの点灯により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。異常が発生している場合は、表に従い対処してください。

ON/STANDBY インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点灯	スタンバイ状態です。
緑色に点滅	本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、または電源を切ったあと、冷却している状態です。
緑色に点灯	電源が入っている状態です。
オレンジ色に点灯	パワーセービング（ランプオフ）状態です。
赤色に点滅	異常な状態です。点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。また、以下の対処を行っても症状が再発する場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
2 回点滅	内部温度が高温になっています。以下を確認してください。 ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか。 ・エアーフィルターがつまっていないか。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。
6 回点滅	電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケーターが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
その他の点滅回数	ソニーの相談窓口にご相談ください。

LAMP/COVER インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点滅	点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。
2 回点滅	ランプカバーまたはエアーフィルターユニットが確実に取り付けられていません。
3/4/5 回点滅	ランプ（3 回：ランプ 1 のみ、4 回：ランプ 2 のみ、5 回：ランプ 1 とランプ 2）が高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください（41 ページ）。
6 回点滅	レンズが装着されていません（45 ページ）。

その他

メッセージ一覧

画面に次のようなメッセージが表示されたら、表に従い対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
セット内部温度が高いです。 1分後にランプオフします。	以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアーフィルターがつまっていないか。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。	3、29、43
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	再生する機器の画面設定で本機が対応している信号へ変更してください。	56
入力A信号種別の設定を確認してください。	「入力A信号種別」をオート、または入力されている信号に合わせて設定してください。	27
ランプ1とフィルターを交換してください。	ランプを交換し、エアーフィルターを交換してください。 メッセージは、ランプを交換するまで、起動時に毎回表示されます。	41、43
ランプ2とフィルターを交換してください。		
ランプ1とランプ2とフィルターを交換してください。		
本機内部の温度が高くなっていますので、高地モードを入に切り替えます。高地でご使用の際は高地モードを入でお使いください。	高地（海抜1500m以上）で使用していない場合は、以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアーフィルターがつまっていないか。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。	3、29、43
無効キーが押されました。	無効なボタンが押されました。	5
パネルキーロック中です！	パネルキーロックが設定されています。	25
レンズコントロールはロックされています！	レンズコントロールが「切」で設定されています。	25
ランプ1でエラーが発生しました。 ランプ2を点灯します。	ランプでエラーが発生したため 他のランプを点灯しています。	–
ランプ2でエラーが発生しました。 ランプ1を点灯します。		
シャッターが動作しませんでした。	ソニーの相談窓口にご相談ください。	–

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	対処のしかた	ページ
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	–
	「パネルキーロック」が「入」になっていると、本体の I/⏻ ボタンで電源を入れることができません。	25
	ランプ、ランプカバーまたはエアーフィルターユニットのいずれかが確実に取り付けられていないと電源は入りません。	41、43
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	9
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。 ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。	13
	入力が正しく選ばれていることを確認してください。	13
	消画（ミューティング）されていないことを確認してください。	7
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」になっていると表示されません。	25
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	入力信号を正しく判定できないことにより、正しく表示されない場合があります。その場合は「アスペクト」の設定を手動で設定してください。	20、22
	「スクリーンアスペクト」が正しい設定になっていることを確認してください。	29
画面が台形になっている	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利用して補正することができます。	6、29
画面のすみが表示されない、または暗い	調整可能なレンズシフト量を超えてレンズシフトを使うと、画面のすみが表示されなかったり、暗くなったりする場合があります。調整可能なレンズシフト範囲でお使いください。	59

症状	対処のしかた	ページ
画面が暗い／明るすぎる	「明るさ」、「コントラスト」、「ランプモード」の設定により、画面の明るさが変わります。適切な値になっているか確認してください。	18、24
	ランプが消耗していると画面が暗くなります。「ランプの使用時間」を確認し、ランプを交換してください。	31
画面がぼやける	フォーカスがあっていることを確認してください。	14
	レンズが結露していると画面がぼやけます。結露してしまった場合は、電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。	–
画面にノイズが出る	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	–
リモコンが機能しない	電池が正しく挿入されていることを確認してください。	–
	電池が消耗していないことを確認してください。	–
	本体とリモコンの「ID モード」が一致していることを確認してください。	8、25
	リモコン受光部の設定を確認してください。	25
ファンの音が気になる	以下のような場合はランプなどをより冷却する必要があるため、ファンの音が大きくなります。 ・ランプモードを「高」で使用している ・高地で使用している（高地モード：「入」） ・本機の周りの温度が高い場所で使用している	24、29
	吸気口、排気口がふさがれていると内部温度が上昇し、ファンの音が大きくなります。	3

ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合、またはインジケーターにランプ交換のお知らせが表示された場合は、新しいランプに交換してください（36、38 ページ）。
本機は２つのランプを搭載しています。ランプ交換を始めるまえに交換するランプを確認してください。（下記、または 37 ページ）
交換ランプは、プロジェクターランプ LMP-F330（別売）をお使いください。

⚠警告

- 電源を切った直後はランプが高温になっているため、**触れるとやけどの原因**となります。ランプを充分に冷やすため、**本機の電源を切ったあと 1 時間以上たってからランプを交換**してください。
- ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠注意

- ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ランプを取り出すときは、必ず指定された箇所を持ち、ランプを傾けずに水平にしたまま取り出してください。指定された箇所以外の部分に触れると、けがややけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

はじめに

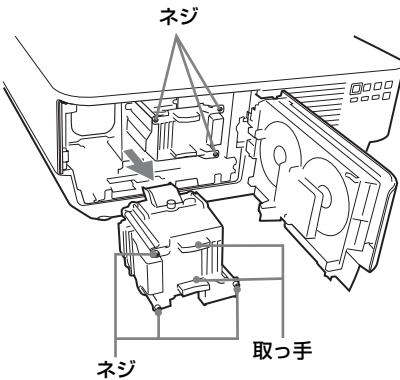
本機は２つのランプを搭載しています。LAMP/COVER インジケーターの点滅回数により、交換が必要なランプを確認してください。

３回点滅：ランプ１のみ交換
４回点滅：ランプ２のみ交換
５回点滅：ランプ１と２の両方を交換

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 ランプが充分冷えてから、側面にあるランプカバーのネジ（2 本）をゆるめ（❶）、つまみを持ってランプカバーを後方へ少しずらして（❷）開く（❸）。

その他

3 **交換するランプのネジ（3本）をゆるめ、取っ手を持ってランプを取り出す。**

ご注意

ランプ1とランプ2は同じランプを使用しますが、上下が逆に挿入されています。取り出すときに、ランプの上下を確認しておいてください。

4 **新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジ（3本）を締める。**

5 **ランプカバーを閉じ、ネジ（2本）を締める。**

ご注意

・ランプを固定するネジがゆるいと、ランプカバーが閉まりません。
・ランプやランプカバーが確実に装着されていないと、電源が入りません。

ランプの交換が終わったら

続けてエアフィルターカートリッジを交換してください（43ページ）。

エアーフィルターカートリッジを交換する

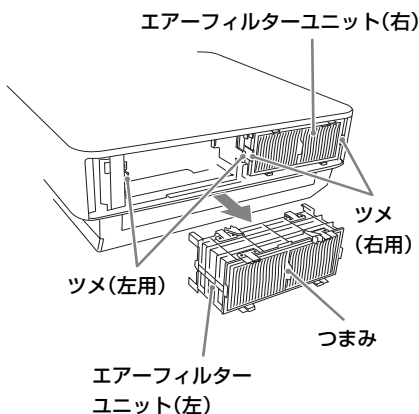
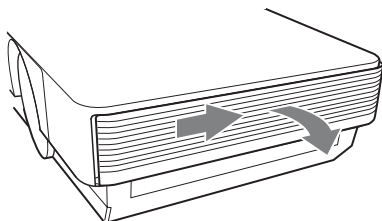
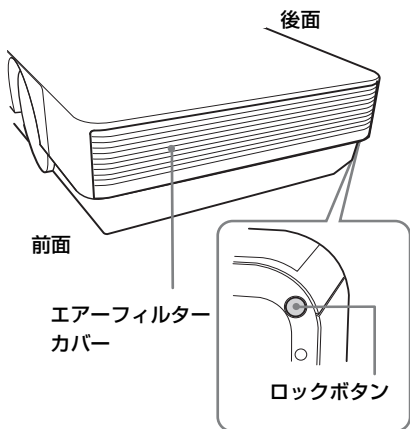
ランプの交換が終わったら、続けてエアーフィルターカートリッジを交換してください。エアーフィルターカートリッジは、新しいランプに同梱されている4個すべてを交換します。

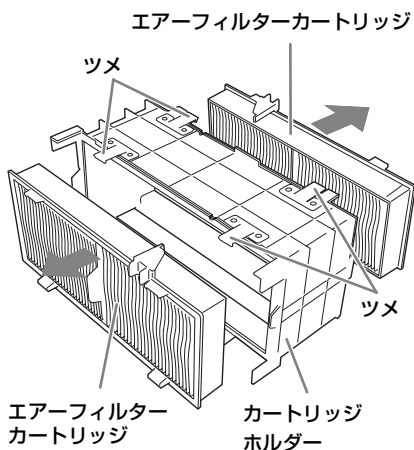
⚠注意

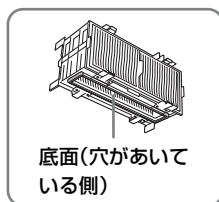
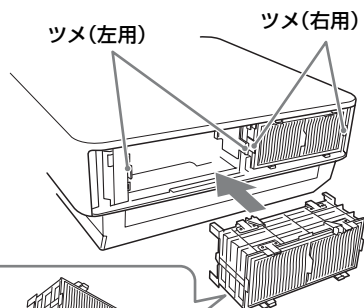
エアーフィルターカートリッジの交換を怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

1 電源コードが抜けていることを確認する。

2 エアーフィルターカバーのロックボタンを押し込みながら、後方へ少しずらしてはずす。

3 本体のツメを片方ずつ左右に押し広げながら、エアーフィルターユニットのつまみを持ってまっすぐに引き抜く。

4 取り出したエアーフィルターユニット（2 個）から、エアーフィルターカートリッジ（全部で 4 個）を取りはずし、新しいカートリッジを取り付ける。

エアーフィルターカートリッジをカートリッジホルダーに取り付けるときは、カートリッジホルダー側のツメ（エアーフィルターカートリッジ 1 個につき 4 か所、全部で 8 か所）で、「カチッ」と音がするまで確実に引っかけてください。
エアーフィルターユニットは左右 2 個あります。

5 エアーフィルターユニットを元に戻す。

エアーフィルターユニットには図のように上面と底面があります。挿入する前に確認してください。

このとき、エアーフィルターユニットを本体側のツメ（エアーフィルターユニット 1 個につき 2 か所、全部で 4 か所）で、「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

6 エアーフィルターカバーを閉じる。

ご注意

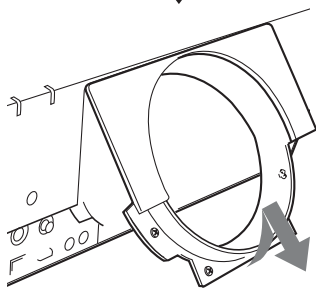
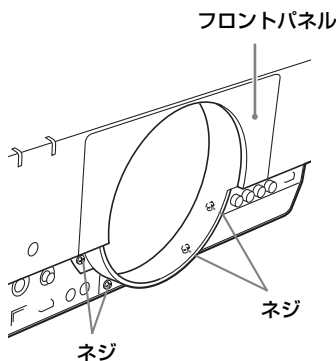
エアーフィルターユニットが確実に装着されていないと、本機の電源が入りません。

投写レンズを取り付ける／取りはずす

ご注意

・電源を切り、電源コードを抜いてから行ってください。
・投写レンズを落とさないように気をつけてください。
・天吊状態では行わないでください。
・レンズ面には手を触れないでください。
・取り付け可能な投写レンズ、またはレンズアダプターについては「仕様」をご覧ください（51 ページ）。

取り付ける

1 **フロントパネルを固定しているネジ（4 本）をゆるめ、フロントパネルを前方向にはずす。**

2 **取り付ける投写レンズに合わせて必要な準備をする。**

VPLL-FM22/ZM32/ZM42/ZM102

A 補正ガラスを取りはずす（46 ページ）

VPLL-FM21*1/ZM31*1/ZP41/FM22/ZM32/ZM42/ZM102

B 投写レンズアダプターを取り付ける（47 ページ）

VPLL-ZM101*1

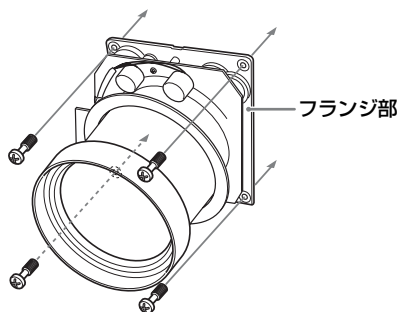
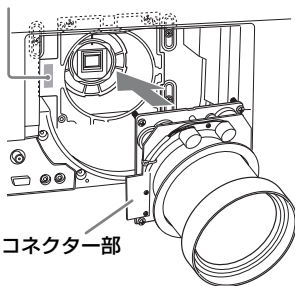
B 投写レンズアダプターを取り付ける（47 ページ）

C 遮光シートを取り付ける（49 ページ）

VPLL-4008/Z4015/Z4019/Z4025/Z4045

投写レンズアダプターを取り付ける必要はありません。

3 **ネジ（4 本、本体に付属）を、投写レンズのフランジ部に仮止めする。**

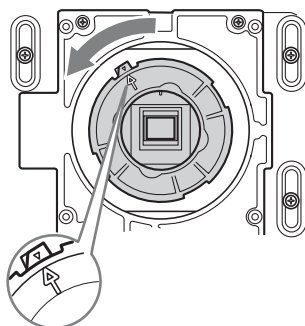
その他

4 本機のコネクター部と投写レンズのコネクター部を合わせ、レンズが突き当たるまで差し込む。

5 手順３で取り付けたネジ（４本）を締める。

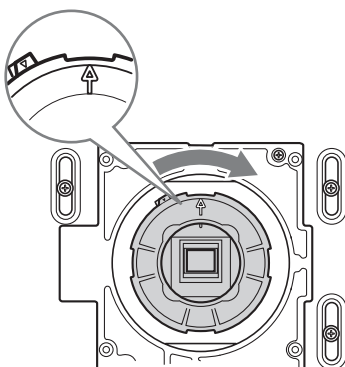
6 フロントパネルを取り付け、ネジ（４本）を締める。

A VPLL-FM22/ZM32/ZM42/ZM102：補正ガラスを取りはずす

本体のレンズ取り付け部にある「補正ガラス」を取りはずす必要があります。

補正ガラスの取りはずしかた

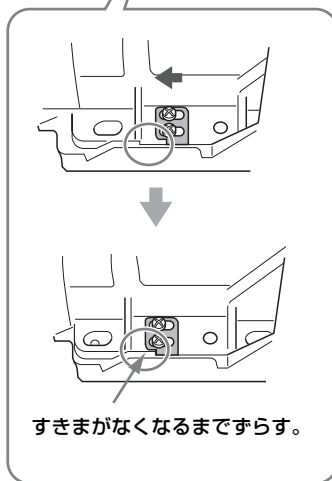
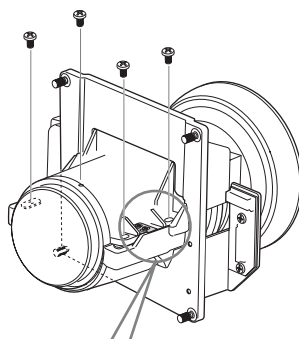
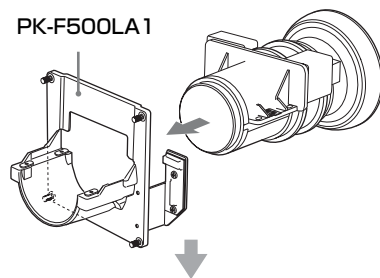
図のように、左に回転させてから手前に引きます。

補正ガラスの取り付けかた

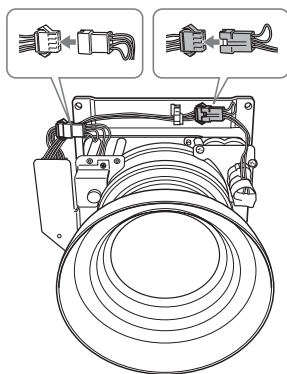
補正ガラスの矢印マークと、本体の補正ガラス取り付け部の▽マークを合わせて差し込み、右に回転させます。

B VPLL-FM21[*1]/ZM31[*1]/ZP41/ FM22/ZM32/ZM42/ZM101[*1]/ZM102：投写レンズアダプターを取り付ける

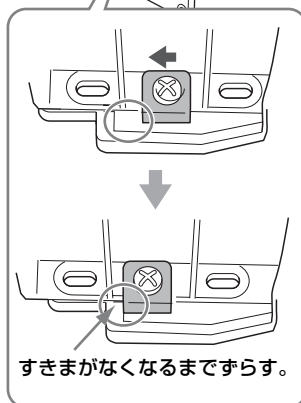
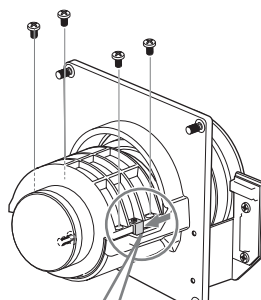
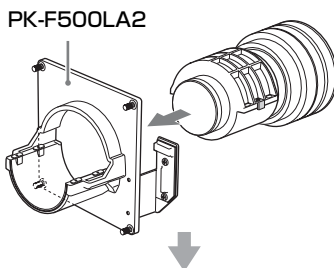
取り付ける投写レンズにレンズアダプターを取り付ける必要があります。

レンズアダプターに投写レンズを差し込んで図のように合わせ、ネジ（4本、レンズアダプターに付属）で締めます。

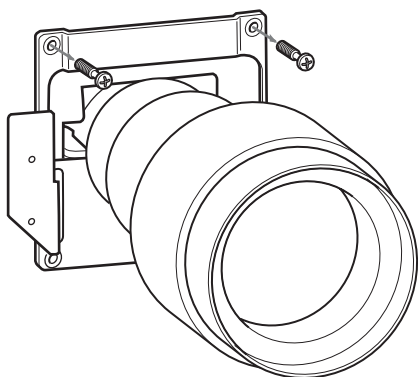
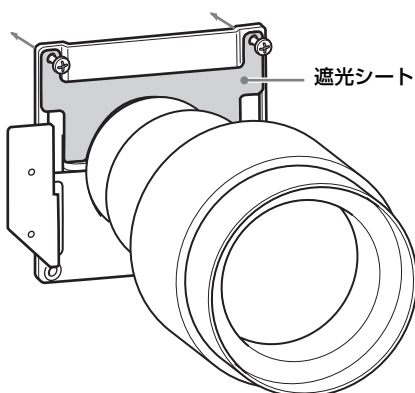
VPLL-FM21[*1]/ZM31[*1]/ZP41/ZM101[*1]

使用するレンズアダプター：
PK-F500LA1

VPLL-ZP41 を取り付けるときは

図のように、レンズアダプターと投写レンズのコネクター（2 か所）を接続してください。

VPLL-FM22/ZM32/ZM42/ZM102

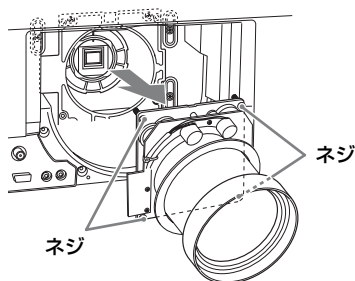
使用するレンズアダプター：
PK-F500LA2

C VPLL-ZM101[*1]：遮光シートを取り付ける

レンズアダプターを取り付けた後に、遮光シート（レンズアダプターに付属）を取り付ける必要があります。

1 ネジ（2 本）をはずす。

2 図のように遮光シートを投写レンズに合わせ、ネジ（2 本）で取り付ける。

取りはずす

1 フロントパネルを固定しているネジ（4 本）をゆるめ、フロントパネルを前方向にはずす。

2 投写レンズを固定しているネジ（4 本）をゆるめ、レンズをまっすぐに引き出す。

ネジを緩める際にレンズの重みでレンズが落下しないよう、レンズを手で支えながら作業してください。

ご注意

レンズシフトを行っている場合は、ネジをはずせない場合があります。この場合はレンズをセンター位置に戻してください（14 ページ）。

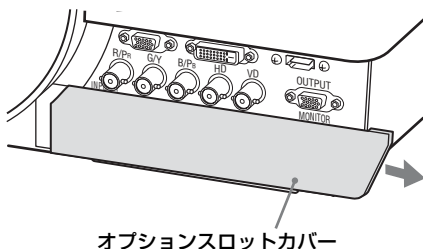
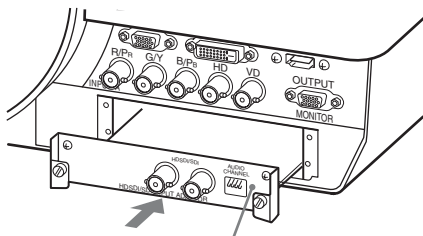
その他

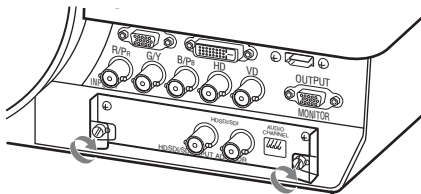
*1：VPL-FX500L のみ。

オプションアダプターの取り付けかた

別売のオプションアダプターをプロジェクターの接続端子部のINPUT Eに取り付けることができます。

1 プロジェクターの電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

2 接続端子部に取り付けてあるオプションスロットカバーを右にスライドさせ、取りはずす。

3 オプションアダプターを奥まで差し込む。

例: HD-SDI/SDI入力アダプターBKM-FW16（別売）

4 ネジ（2か所）を締めてオプションアダプターを固定する。

仕様

項目		項目説明
形名		**VPL-FH500L/VPL-FX500L**
投写方式		3LCD 方式
表示素子	有効表示サイズ	VPL-FH500L：0.95 型（24.1 mm）、3 枚、アスペクト比 16：10 VPL-FX500L：0.99 型（25.0 mm）、3 枚、アスペクト比 4：3
	有効画素数	VPL-FH500L：6,912,000 画素（1920 × 1200 × 3） VPL-FX500L：2,359,296 画素（1024 × 768 × 3）
光源		高圧水銀ランプ 330 W 型
有効光束（明るさ）		7000 lm*1（ランプモード：高）
対応走査周波数*2		水平：14 ～ 93 kHz、垂直：47 ～ 93 Hz
表示可能解像度	コンピューター信号入力時	最大入力解像度：1920 × 1200 ドット パネル表示解像度： VPL-FH500L：1920 × 1200 ドット VPL-FX500L：1024 × 768 ドット
	ビデオ信号入力時	NTSC、PAL、SECAM、480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、1080/60p、1080/50p、1080/48i*3、1080/24p*3、1080/30p*3
カラー方式		NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60
コンピューター／ビデオ入出力	入力 A	**RGB/Y PB PR 入力端子：**5BNC 凹、同期付 G/Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / PB PR 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性
	入力 B	**RGB 入力端子：**ミニ D-sub 15 ピン 凹、RGB 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性
	入力 C	**DVI-D 入力端子：**DVI-D 24 ピン（Single link）、DVI 1.0 互換、HDCP 対応
	入力 D*3	**HDMI 入力端子：**デジタル RGB/YPBPR
	入力 E*3	**オプションアダプター用**

項目		項目説明
形名		**VPL-FH500L/VPL-FX500L**
コンピューター／ビデオ入出力	S ビデオ入力	**S ビデオ入力端子：**ミニ DIN 4 ピン、Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、C 信号：（バースト信号）0.286（NTSC）/0.3（PAL/SECAM）Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端
	ビデオ入力	**ビデオ入力端子**：BNC、1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端
	出力	**モニター出力端子：**ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1Vp-p ± 2 dB 、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 /PBPR 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：HD、VD 4V（オープン）、1 Vp-p（75 Ω）、正負極性
その他入出力		**RS-232C 端子：**D-Sub 9 ピン 凹
		LAN 端子：RJ45、10BASE-T/100BASE-TX
		CONTROL S 入力端子（電源供給）：ステレオミニジャック、5 Vp-p、プラグインパワー DC 5 V
		CONTROL S 出力端子：ステレオミニジャック
使用温度（使用湿度）		0 ～ 40 ℃（35 ～ 85 %（結露なきこと））
保存温度（保存湿度）		− 20 ～ +60 ℃（10 ～ 90 %）
電源		VPL-FH500L：AC 100 V、4.9 A、50/60 Hz VPL-FX500L：AC 100 V、4.8 A、50/60 Hz
消費電力		VPL-FH500L：490 W VPL-FX500L：480 W
待機電力		VPL-FH500L： 11 W（スタンバイモード「標準」時）／ 0.1 W（スタンバイモード「低」時） VPL-FX500L： 13 W（スタンバイモード「標準」時）／ 0.1 W（スタンバイモード「低」時）
発熱量		VPL-FH500L：1672 BTU VPL-FX500L：1638 BTU
標準外形寸法（幅×高さ×奥行き）		530 × 213 × 545 mm 530 × 204 × 545 mm（突起部含まず）
質量		20 kg

項目	項目説明
形名	**VPL-FH500L/VPL-FX500L**
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサリー*4 *5	**プロジェクターランプ LMP-F330（交換用）**
	プロジェクターサスペンションサポート PSS-630
	プロジェクターサスペンションサポートジョイントポール PSS-630P
	プロジェクションレンズ VPLL-FM22*6：手動フォーカス、画面サイズ：40 ～ 300 型（1.02 ～ 7.62 m）、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：88 × 88 × 169 mm、質量：950 g
	プロジェクションレンズ VPLL-ZM32*6：手動フォーカス／ズーム、画面サイズ：40 ～ 300 型 (1.02 ～ 7.62 m)、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：88 × 88 × 159 mm、質量：1,000 g
	プロジェクションレンズ VPLL-ZM42*6：手動フォーカス／ズーム、画面サイズ：40 ～ 300 型（1.02 ～ 7.62 m）、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：88 × 88 × 159 mm、質量：650 g
	プロジェクションレンズ VPLL-ZP41*7：電動フォーカス／ズーム、画面サイズ：40 ～ 300 型（1.02 ～ 7.62 m）、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：117 × 110 × 198 mm、質量：1,460 g
	プロジェクションレンズ VPLL-ZM102*6：手動フォーカス／ズーム、画面サイズ：40 ～ 300 型（1.02 ～ 7.62 m）、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：88 × 88 × 198 mm、質量：1,500 g
	プロジェクションレンズ VPLL-ZM101*7 *8：手動フォーカス／ズーム、画面サイズ：40 ～ 300 型（1.02 ～ 7.62 m）、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：100 × 100 × 222 mm、質量：1,810 g
	プロジェクションレンズ VPLL-4008：手動フォーカス、画面サイズ：40 ～ 600 型（1.02 ～ 15.24 m）、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：148 × 133 × 240 mm、質量：2,550 g

その他

項目	項目説明
形名	VPL-FH500L/VPL-FX500L
別売りアクセサリー[*4][*5]	**プロジェクションレンズ VPLL-Z4015：電動** フォーカス／ズーム、画面サイズ：40 ～ 600 型(1.02 ～ 15.24 m)、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：148 × 133 × 231 mm、質量：3,000 g
	プロジェクションレンズ VPLL-Z4019：電動 フォーカス／ズーム、画面サイズ：40 ～ 600 型(1.02 ～ 15.24 m)、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：148 × 133 × 212 mm、質量：3,060 g
	プロジェクションレンズ VPLL-Z4025：電動 フォーカス／ズーム、画面サイズ：40 ～ 600 型(1.02 ～ 15.24 m)、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：148 × 133 × 243 mm、質量：2,800 g
	プロジェクションレンズ VPLL-Z4045：電動 フォーカス／ズーム、画面サイズ：60 ～ 600 型(1.52 ～ 15.24 m)、最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）：148 × 133 × 235 mm、質量：3,000 g
	プロジェクションレンズアダプター PK-F500LA1
	プロジェクションレンズアダプター PK-F500LA2
	HD-SDI/SDI 入力アダプター BKM-FW16[*3]

ご注意

表示している外形寸法、質量は概寸です。

*1 VPLL-ZP41 装着時。出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にのっとって記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

*2 詳細は、対応信号表をご覧ください（56 ページ）。

*3 VPL-FH500L のみ対応。

*4 別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口に確認してください。

*5 ここに記載されている別売りアクセサリーは、2010 年 5 月現在のものです。

*6 本機に取り付ける場合はプロジェクションレンズアダプター「PK-F500LA2」が必要です。

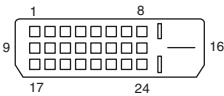
*7 本機に取り付ける場合はプロジェクションレンズアダプター「PK-F500LA1」が必要です。

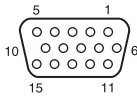
*8 VPL-FX500L のみ対応。

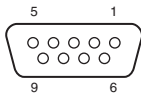
本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

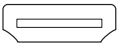
お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

DVI-D 端子（DVI-D、凹）

1	T.M.D.S. Data2 −	14	+5 V Power
2	T.M.D.S. Data2+	15	Ground (return for +5 V)
3	T.M.D.S. Data2 Shield		
4	NC	16	Hot Plug Detect
5	NC	17	T.M.D.S. Data0 −
6	DDC Clock	18	T.M.D.S. Data0+
7	DDC Data	19	T.M.D.S. Data0 Shield
8	NC	20	NC
9	T.M.D.S. Data1 −	21	NC
10	T.M.D.S. Data1+	22	T.M.D.S. Clock Shield
11	T.M.D.S. Data1 Shield	23	T.M.D.S. Clock+
12	NC	24	T.M.D.S. Clock −
13	NC		

RGB 入力端子（ミニ D-sub 15 ピン、凹）

1	映像入力（赤）R	9	DDC 用電源入力
2	映像入力（緑）G	10	接地
3	映像入力（青）B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

RS-232C 端子（D-Sub 9 ピン、凹）

1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

HDMI 端子（HDMI、凹）

1	T.M.D.S. Data2+	11	T.M.D.S. Clock Shield
2	T.M.D.S. Data2 Shield	12	T.M.D.S. Clock −
3	T.M.D.S. Data2 −	13	CEC
4	T.M.D.S. Data1+	14	RECERVED (N.C.)
5	T.M.D.S. Data1 Shield	15	SCL
6	Data1 −	16	SDA
7	T.M.D.S. Data0+	17	DDC/CEC GND
8	T.M.D.S. Data0 Shield	18	+5V Power
9	T.M.D.S. Data0 −	19	Hot Plug Detect
10	T.M.D.S. Clock+		

対応信号一覧

コンピューター信号

解像度	fH [kHz]/ fV [Hz]	入力端子	
		RGB*1	DVI-D*2/ HDMI*6 *8
640 × 350	31.5/70	●	−
	37.9/85	●	−
640 × 400	31.5/70	●	−
	37.9/85	●	−
640 × 480	31.5/60	●	●
	35.0/67	●	−
	37.9/73	●	−
	37.5/75	●	−
	43.3/85	●	−
800 × 600	35.2/56	●	−
	37.9/60	●	●
	48.1/72	●	−
	46.9/75	●	−
	53.7/85	●	−
832 × 624	49.7/75	●	−
1024 × 768	48.4/60	●	●
	56.5/70	●	−
	60.0/75	●	−
	68.7/85	●	−
1152 × 864	64.0/70	●	−
	67.5/75	●	−
	77.5/85	●	−
1152 × 900	61.8/66	●	−
1280 × 960	60.0/60	●	●
	75.0/75	●	−
1280 × 1024	64.0/60	●	●
	80.0/75	●	−
	91.1/85	●	−
1400 × 1050	65.3/60	●	●
1600 × 1200	75.0/60	●	●
1280 × 768	47.8/60	●	●
1280 × 720	45.0/60	●	●*5

解像度	fH [kHz]/ fV [Hz]	入力端子	
		RGB*1	DVI-D*2/ HDMI*6 *8
1920 × 1080	67.5/60	—	●*5
1360 × 768	47.7/60	●	●
1440 × 900	55.9/60	●	●
1680 × 1050	65.3/60	●	●
1280 × 800	49.7/60	●	●
1920 × 1200	74.0/60	●*4	●*4
1600 × 900	60.0/60	●*4* 8	●*4 *8

デジタル TV 信号

信号名	fV [Hz]	入力端子		
		RGB/ Y PB PR*3	DVI-D*2/ HDMI*6	HD-SDI/ SDI 入力 アダプター BKM-FW16 (別売) *7 *8
480i	60	●	●	●
576i	50	●	●	●
480p	60	●	●	—
576p	50	●	●	—
1080i	60	●	●	●
1080i	50	●	●	●
1080i	48	—	—	●
720p	60	●	●*5	●
720p	50	●	●	●
1080p	60	—	●*5	—
1080p	50	—	●	—
1080p	24	—	●*8	●
1080p	30	—	—	●

アナログ TV 信号

信号名	fV [Hz]	入力端子
		VIDEO／S VIDEO
NTSC	60	●
PAL/SECAM	50	●

ご注意

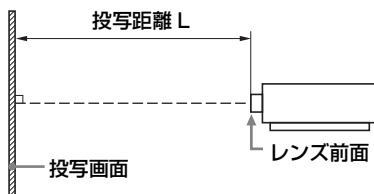
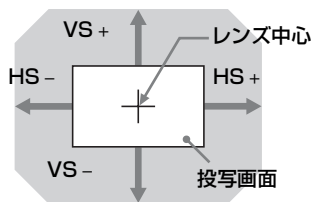
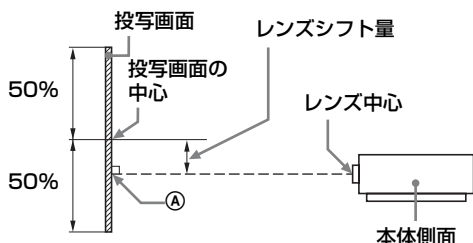
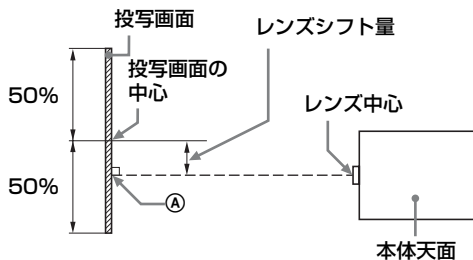
*1：入力 A、入力 B
*2：入力 C
*3：入力 A
*4：VESA Reduced Blanking 信号のみ対応します。
*5：入力 C はコンピューター信号、入力 D はデジタル TV 信号として識別します。
*6：入力 D
*7：入力 E
*8：VPL-FH500L のみ対応します。

・表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
・パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。
・設計値のため多少誤差があります。

2 画面入力組み合わせ一覧表（VPL-FH500L のみ）

主画面＼副画面	入力 A（RGB/Y PB PR）	入力 B（RGB）	入力 C（DVI-D）	入力 D（HDMI）	入力 E（オプションアダプター）	S ビデオ	ビデオ
入力 A（RGB/Y PB PR）		●	—	—	—	—	—
入力 B（RGB）	—		—	—	—	—	—
入力 C（DVI-D）	—	●		—	—	—	—
入力 D（HDMI）	—	●	—		—	—	—
入力 E（オプションアダプター）	—	●	—	—		—	—
S ビデオ	—	●	—	—	—		—
ビデオ	—	●	—	—	—	—	

投写距離とレンズシフト量

投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。

レンズシフト量は、レンズの中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 Ⓐ）と、投写画面の中心が同じ場合を「0」とした場合、そこからどれくらい動かせるかを、投写画面の「全高」または「全幅」を100% とし、その距離をパーセントで表します。

網掛け：移動できる範囲

VS + ：垂直レンズシフト量（上）[%]
VS – ：垂直レンズシフト量（下）[%]
HS + ：水平レンズシフト量（右）[%]
HS – ：水平レンズシフト量（左）[%]

投写距離表（VPL-FH500L）

単位：m

画面サイズ		投写距離 L			
対角 D	横×縦	VPLL-FM22	VPLL-ZM32	VPLL-ZM42	VPLL-ZP41
80 型 (2.03)	1.72 × 1.08	1.48	2.49 – 2.74	3.17 – 3.98	4.28 – 4.78
100 型 (2.54)	2.15 × 1.35	1.87	3.12 – 3.44	3.98 – 4.99	5.37 – 6.00
120 型 (3.05)	2.58 × 1.62	2.25	3.76 – 4.15	4.78 – 6.00	6.45 – 7.22
150 型 (3.81)	3.23 × 2.02	2.83	4.71 – 5.20	5.99 – 7.51	8.09 – 9.05
200 型 (5.08)	4.31 × 2.69	3.79	6.30 – 6.95	8.01 – 10.03	10.80 – 12.11

画面サイズ	投写距離 L
対角 D	VPLL-ZM102
80 型 (2.03)	5.62 – 8.33
100 型 (2.54)	7.07 – 10.46
120 型 (3.05)	8.52 – 12.58
150 型 (3.81)	10.69 – 15.77
200 型 (5.08)	14.31 – 21.09

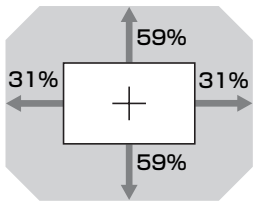
画面サイズ	投写距離 L				
対角 D	VPLL-4008	VPLL-Z4015	VPLL-Z4019	VPLL-Z4025	VPLL-Z4045
80 型 (2.03)	1.80	3.36 – 4.42	4.36 – 5.57	5.48 – 10.14	10.09 – 17.46
100 型 (2.54)	2.27	4.22 – 5.55	5.48 – 6.99	6.88 – 12.71	12.66 – 21.88
120 型 (3.05)	2.74	5.09 – 6.68	6.60 – 8.41	8.29 – 15.28	15.23 – 26.30
150 型 (3.81)	3.44	6.38 – 8.38	8.29 – 10.55	10.40 – 19.14	19.10 – 32.93
200 型 (5.08)	4.61	8.55 – 11.20	11.09 – 14.10	13.92 – 25.57	25.53 – 43.99

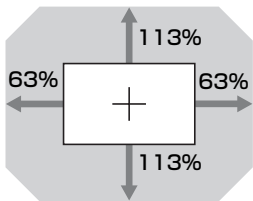
投写距離計算式（VPL-FH500L）

D：投写画面サイズ（対角）　　　　　　　　　　　　　　　　単位：m

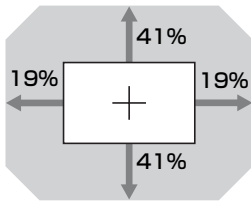
レンズ	投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
VPLL-FM22	L ＝ 0.0192 × D － 0.0524	－
VPLL-ZM32	L ＝ 0.0318 × D － 0.0581	L ＝ 0.0350 × D － 0.0549
VPLL-ZM42	L ＝ 0.0403 × D － 0.0558	L ＝ 0.0504 × D － 0.0524
VPLL-ZP41	L ＝ 0.0544 × D － 0.0758	L ＝ 0.0610 × D － 0.0917
VPLL-ZM102	L ＝ 0.0724 × D － 0.1755	L ＝ 0.1063 × D － 0.1635
VPLL-4008	L ＝ 0.0234 × D － 0.0777	－
VPLL-Z4015	L ＝ 0.0433 × D － 0.1100	L ＝ 0.0565 × D － 0.1029
VPLL-Z4019	L ＝ 0.0561 × D － 0.1260	L ＝ 0.0711 × D － 0.1200
VPLL-Z4025	L ＝ 0.0704 × D － 0.1611	L ＝ 0.1286 × D － 0.1510
VPLL-Z4045	L ＝ 0.1287 × D － 0.2160	L ＝ 0.2211 × D － 0.2269

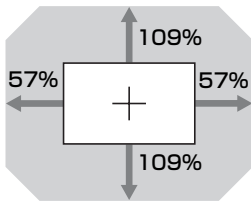
レンズシフト量（VPL-FH500L）

■ VPLL-ZM32, VPLL-ZM42, VPLL-ZM102

VS ＋ ＝ VS － ＝ 59 － 1.903 ×（ HS ＋ もしくは HS －）[%]
HS ＋ ＝ HS － ＝ 31 － 0.525 ×（VS ＋ もしくは VS －）[%]

■ VPLL-ZP41, VPLL-Z4019, VPLL-Z4025, VPLL-Z4045

VS ＋ ＝ VS － ＝ 113 － 1.794 ×（HS ＋ もしくは HS －）[%]
HS ＋ ＝ HS － ＝ 63 － 0.558 ×（VS ＋ もしくは VS －）[%]

その他

■ VPLL-4008

VS + = VS – = 41 − 2.158 ×（HS + もしくは HS –）[%]
HS + = HS – = 19 − 0.463 ×（VS + もしくは VS –）[%]

■ VPLL-Z4015

VS + = VS – = 109 − 1.912 ×（HS + もしくは HS –）[%]
HS + = HS – = 57 − 0.523 ×（VS + もしくは VS –）[%]

投写距離表（VPL-FX500L）

単位：m

画面サイズ		投写距離 L			
対角 D	横×縦	VPLL-FM22	VPLL-ZM32	VPLL-ZM42	VPLL-ZP41
80 型 (2.03)	1.63 × 1.22	1.42	2.39 − 2.64	3.05 − 3.82	4.11 − 5.01
100 型 (2.54)	2.03 × 1.52	1.79	3.00 − 3.31	3.82 − 4.79	5.16 − 6.29
120 型 (3.05)	2.44 × 1.83	2.16	3.61 − 3.98	4.60 − 5.76	6.20 − 7.57
150 型 (3.81)	3.05 × 2.29	2.72	4.53 − 4.99	5.76 − 7.22	7.77 − 9.49
200 型 (5.08)	4.06 × 3.05	3.64	6.06 − 6.68	7.70 − 9.64	10.39 − 12.69

画面サイズ	投写距離 L	
対角 D	VPLL-ZM102	VPLL-ZM101
80 型 (2.03)	5.40 − 8.01	7.29 − 10.71
100 型 (2.54)	6.79 − 10.05	9.16 − 13.44
120 型 (3.05)	8.18 − 12.09	11.03 − 16.17
150 型 (3.81)	10.27 − 15.16	13.84 − 20.26
200 型 (5.08)	13.75 − 20.27	18.53 − 27.09

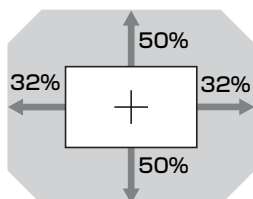
画面サイズ	投写距離 L				
対角 D	VPLL-4008	VPLL-Z4015	VPLL-Z4019	VPLL-Z4025	VPLL-Z4045
80 型 (2.03)	1.73	3.22 – 4.24	4.19 – 5.35	5.26 – 9.74	9.69 – 16.78
100 型 (2.54)	2.18	4.05 – 5.33	5.27 – 6.72	6.61 – 12.21	12.17 – 21.03
120 型 (3.05)	2.63	4.89 – 6.42	6.35 – 8.08	7.97 – 14.69	14.64 – 25.28
150 型 (3.81)	3.30	6.13 – 8.05	7.96 – 10.14	10.00 – 18.40	18.35 – 31.66
200 型 (5.08)	4.43	8.21 – 10.77	10.66 – 13.56	13.38 – 24.58	24.54 – 42.29

投写距離計算式（VPL-FX500L）

D：投写画面サイズ（対角）　単位：m

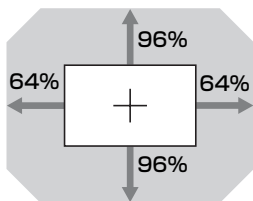
レンズ	投写距離 L（最短）	投写距離 L（最長）
VPLL-FM22	L = 0.0185 × D – 0.0524	–
VPLL-ZM32	L = 0.0305 × D – 0.0581	L = 0.0337 × D – 0.0549
VPLL-ZM42	L = 0.0387 × D – 0.0558	L = 0.0485 × D – 0.0524
VPLL-ZP41	L = 0.0523 × D – 0.0757	L = 0.0640 × D – 0.1052
VPLL-ZM102	L = 0.0696 × D – 0.1755	L = 0.1022 × D – 0.1635
VPLL-ZM101	L = 0.0937 × D – 0.2145	L = 0.1365 × D – 0.2063
VPLL-4008	L = 0.0225 × D – 0.0777	–
VPLL-Z4015	L = 0.0416 × D – 0.1100	L = 0.0544 × D – 0.1029
VPLL-Z4019	L = 0.0539 × D – 0.1260	L = 0.0684 × D – 0.1200
VPLL-Z4025	L = 0.0677 × D – 0.1610	L = 0.1237 × D – 0.1510
VPLL-Z4045	L = 0.1238 × D – 0.2159	L = 0.2126 × D – 0.2269

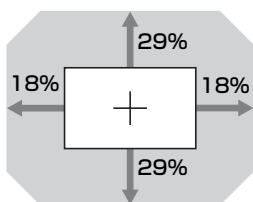
レンズシフト量（VPL-FX500L）

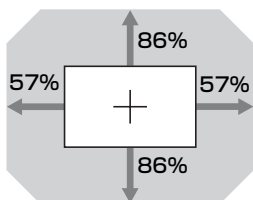
■ VPLL-ZM32, VPLL-ZM42, VPLL-ZM102

$VS_+ = VS_- = 50 - 1.563 \times$（$HS_+$ もしくは HS_-）[%]

$HS_+ = HS_- = 32 - 0.640 \times$（$VS_+$ もしくは VS_-）[%]

その他

■ VPLL-ZP41, VPLL-ZM101, VPLL-Z4019, VPLL-Z4025, VPLL-Z4045

VS + ＝ VS – ＝ 96 － 1.500 × （HS + もしくは HS –）[%]
HS + ＝ HS – ＝ 64 － 0.667 × （VS + もしくは VS –）[%]

■ VPLL-4008

VS + ＝ VS – ＝ 29 － 1.611 × （HS + もしくは HS –）[%]
HS + ＝ HS – ＝ 18 － 0.621 × （VS + もしくは VS –）[%]

■ VPLL-Z4015

VS + ＝ VS – ＝ 86 － 1.509 × （HS + もしくは HS –）[%]
HS + ＝ HS – ＝ 57 － 0.663 × （VS + もしくは VS –）[%]

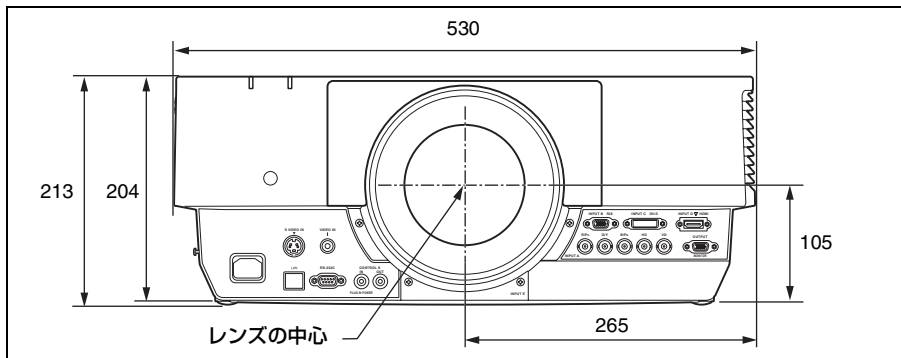
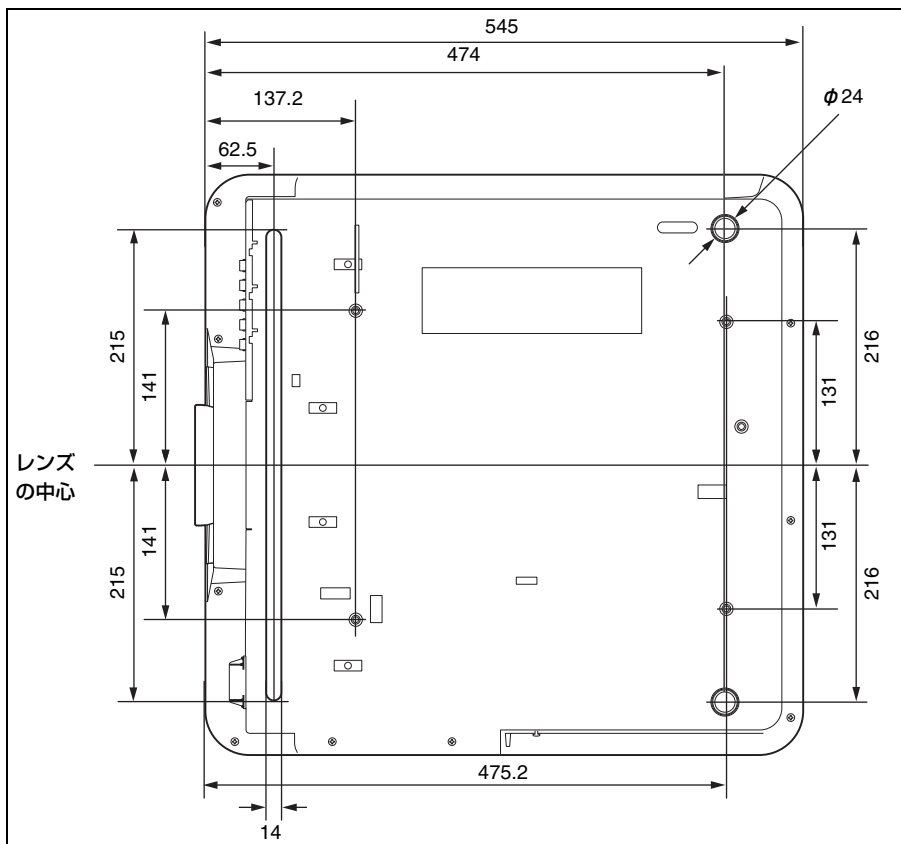
寸法図

本体前面

単位：mm

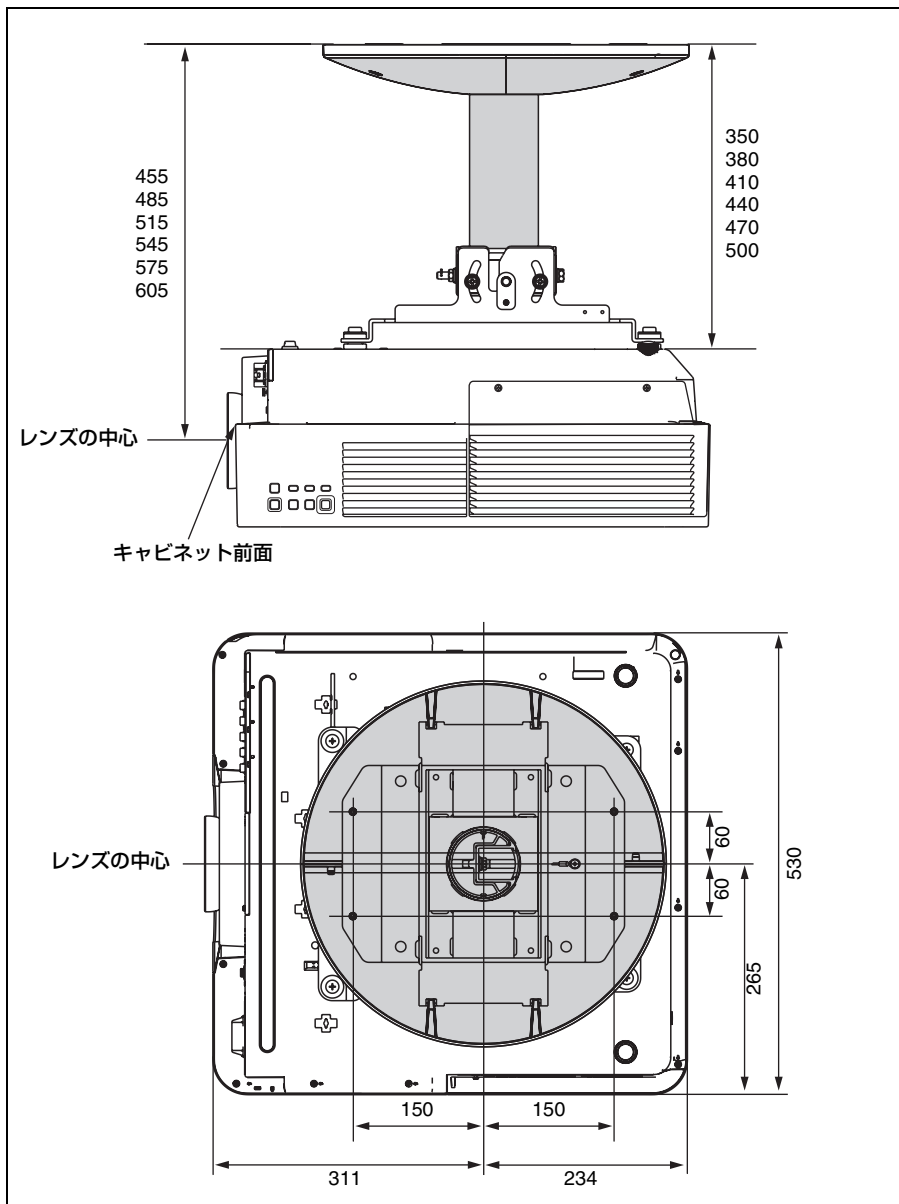
本体底面

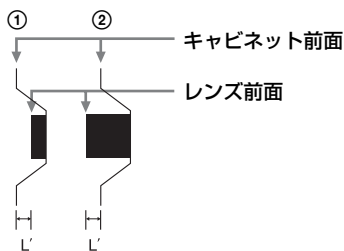
単位：mm

545
474
137.2
62.5
φ24
215
141
レンズ
の中心
141
215
216
131
131
216
475.2
14

プロジェクターサスペンションサポートPSS-630を使用した場合

⚠警告

天井への取り付け、移動は絶対にご自身で行わないでください。必ずソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

単位：mm

レンズ前面（中心）からキャビネット前面までの距離 L'

レンズ	L'	タイプ
VPLL-FM22	30.9 mm	①
VPLL-ZM32	42.5 mm	①
VPLL-ZM42	40.1 mm	①
VPLL-ZP41	9.1 mm	②
VPLL-ZM102	3.0 mm	①
VPLL-ZM101	41.3 mm	②
VPLL-4008	57.8 mm	②
VPLL-Z4015	47.8 mm	②
VPLL-Z4019	26.7 mm	②
VPLL-Z4025	55.4 mm	②
VPLL-Z4045	53.0 mm	②

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → 「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

商標について

- Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- PJLink は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- AMX は、AMX Corporation の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

索引

数字

あ

か

さ

た

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1